

2021年3月の
国内向け／輸出向け出荷の動向
図表集

2021年5月12日

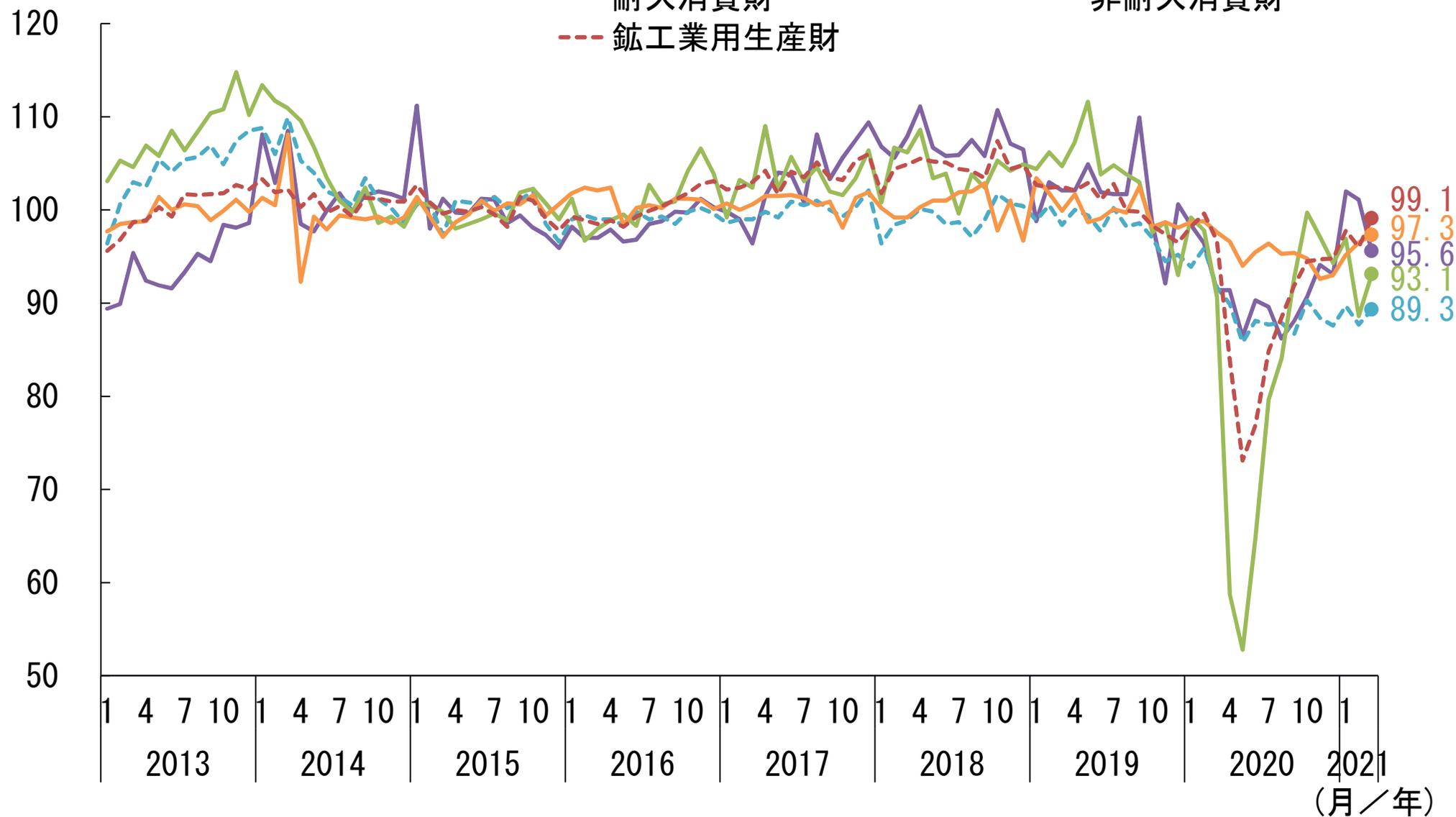
経済解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/result-1.html>

財別出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)

- 資本財(除. 輸送機械)
- 耐久消費財
- - 鉱工業用生産財
- - 建設財
- 非耐久消費財



2021年3月の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

月次	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数 前月比	95.2 0.8%	97.2 -0.8%	94.8 1.6%
指数水準	2021. 1 95. 6以来 I 2014. 3 105. 7 II 2017. 12 105. 4 III 2014. 1, 2018. 4, 10 104. 4	2020. 12 95. 9以来 ①2020. 5 70. 1 ②2020. 6 75. 7 ③2020. 4 77. 8	2020. 3 95. 3以来 I 2014. 3 107. 8 II 2014. 1 106. 9 III 2013. 12, 2017. 12 104. 8
前月比の動き	2か月ぶり+ (2021.1以来)	2か月連続- (2021.2~当月)	2か月ぶり+ (2021.1以来)
前月比幅	2021. 1 2. 9%以来 I 2020. 6 6. 9% II 2020. 7 5. 3% III 2020. 9 3. 8%	2021. 2 -1. 5%以来 ①2020. 3 -13. 5% ②2020. 4 -13. 0% ③2020. 5 -9. 9%	2021. 1 2. 4%以来 I 2020. 6 6. 1% II 2020. 7 4. 9% III 2014. 3 3. 6%

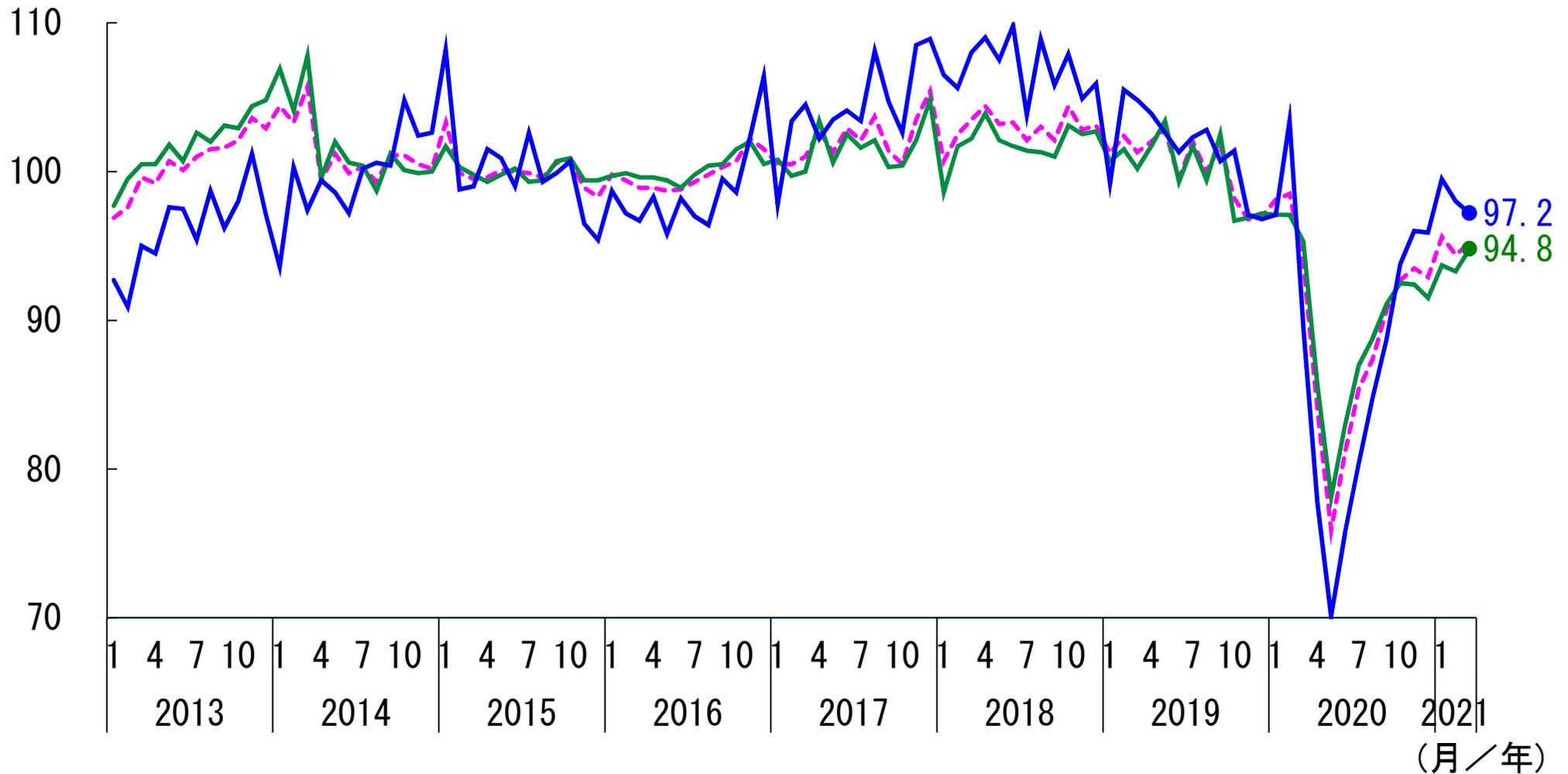
1) I ~ IIIは2015年基準における最大値から上位3位まで、①~③は最小値から下位3位までの数値

国内向け／輸出向け出荷の動向

・2021年3月の鋳工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは94.8(前月比1.6%)と2か月ぶりの上昇、輸出向けは97.2(前月比-0.8%)と2か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

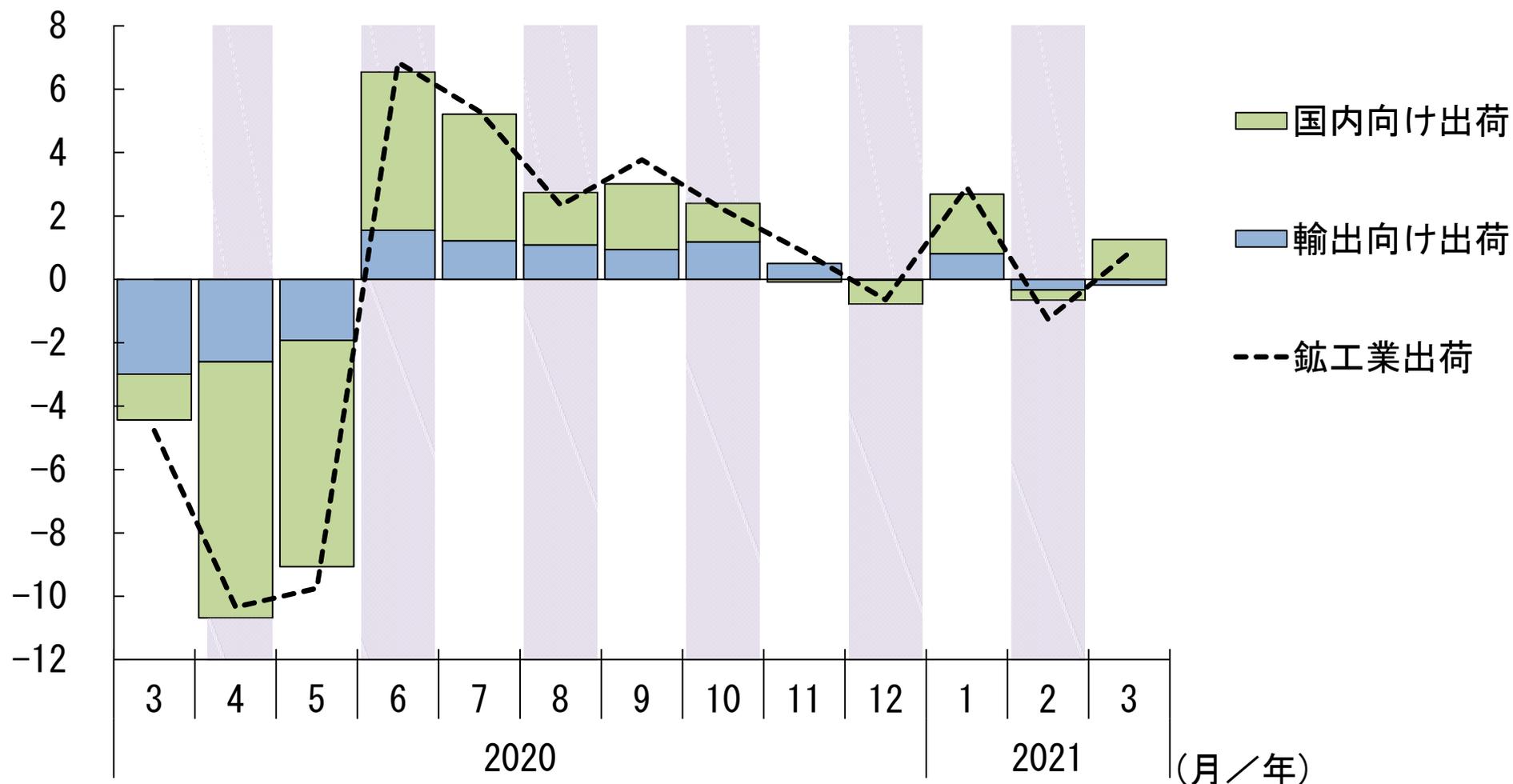
--- 鋳工業出荷 — 国内向け — 輸出向け



鉍工業出荷前月比 国内向け／輸出向け別の影響度合い

・2021年3月の鉍工業出荷は輸出向けは低下したものの、国内向けは上昇したため、前月比0.8%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

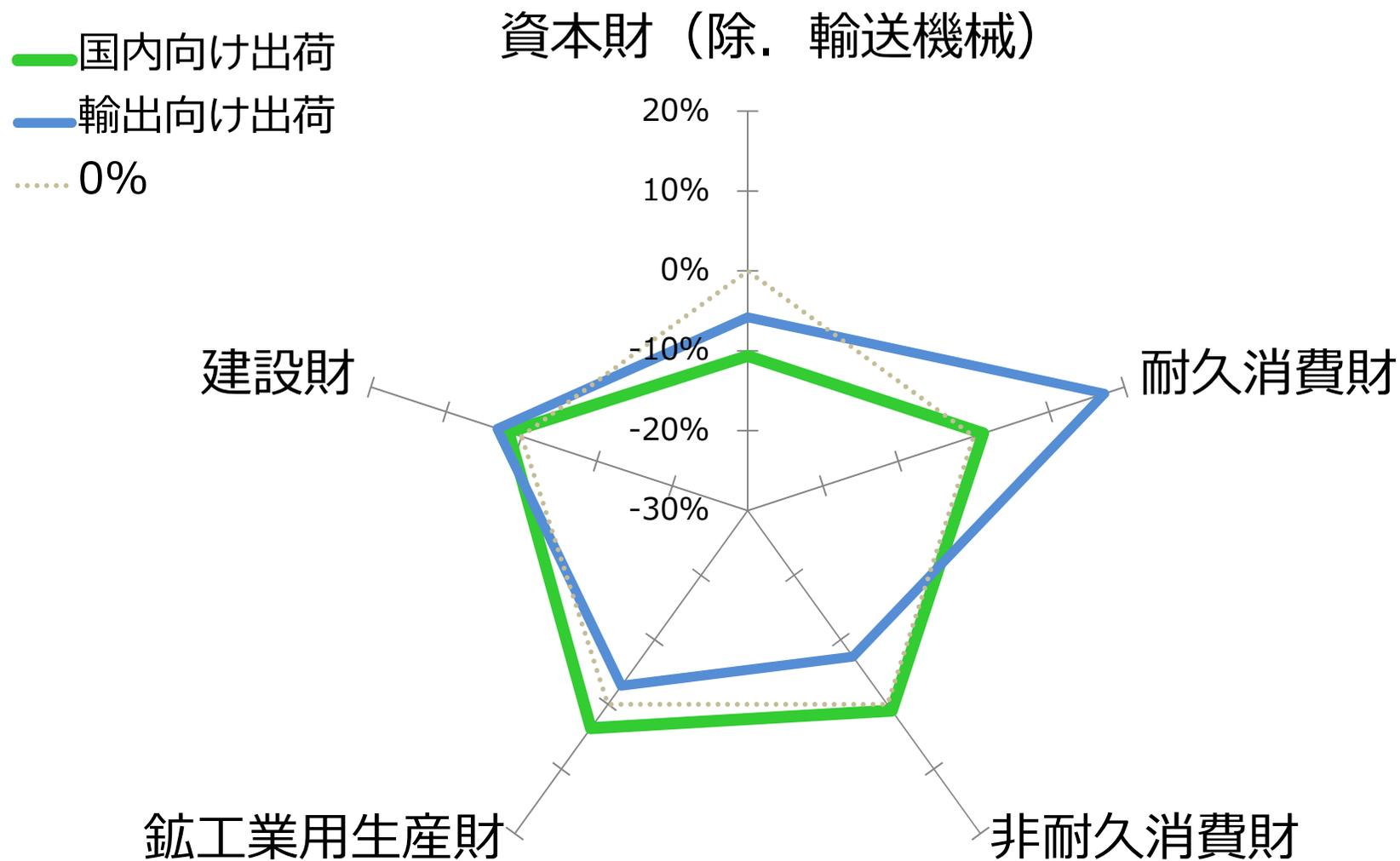


主要業種、財の出荷前月比 国内／輸出向け出荷の影響度合い

業種別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉄鋼・非鉄金属工業	2.0	3.12	-0.81
生産用機械工業	-4.0	-2.81	-0.75
汎用・業務用機械工業	-2.9	-6.31	3.18
電気・情報通信機械工業	-2.6	-2.97	-1.41
輸送機械工業	2.6	3.42	-1.51
化学工業(除. 医薬品)	3.6	1.94	2.53

財別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉱工業用生産財	3.2	2.76	-0.74
資本財(除. 輸送機械)	-5.4	-6.93	-2.22
建設財	1.8	1.60	0.23
耐久消費財	5.1	0.97	3.96
非耐久消費財	0.8	0.91	-0.33

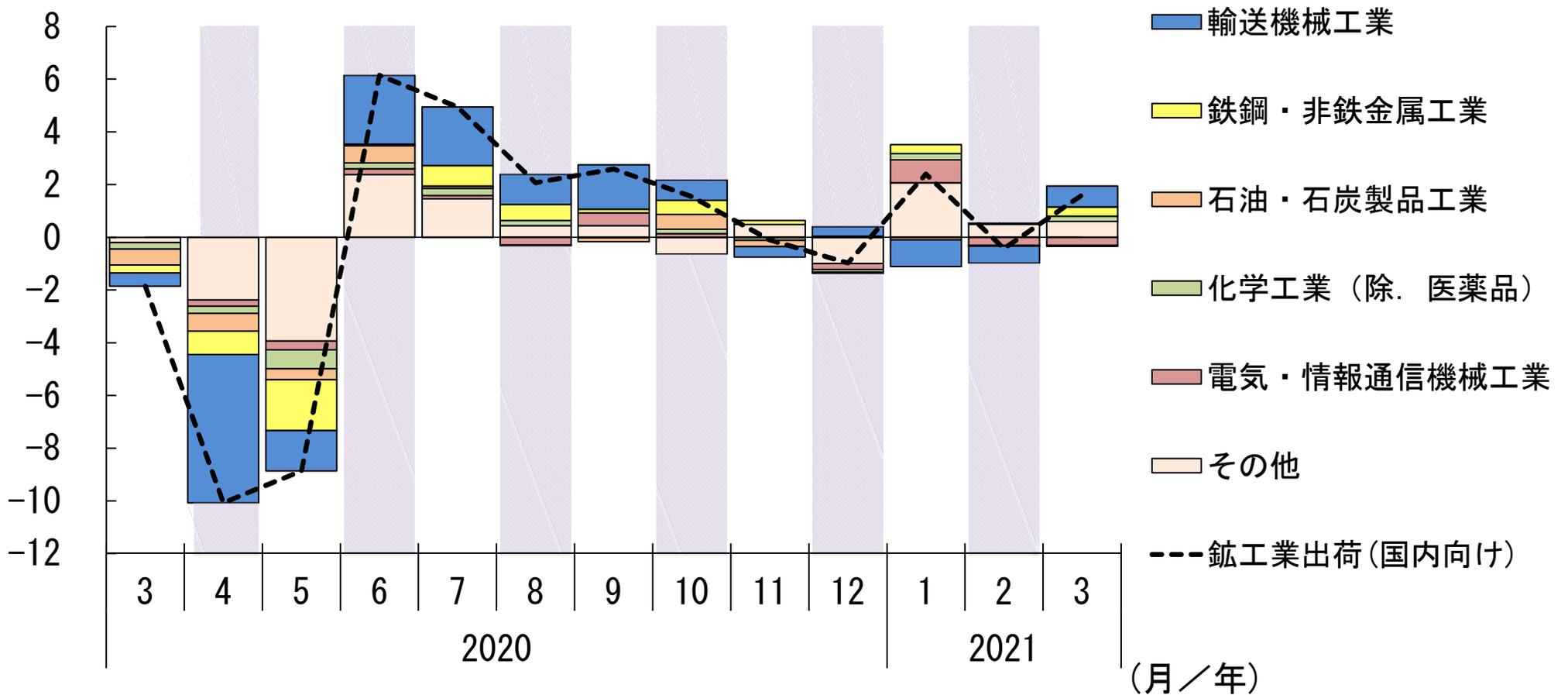
国内向け／輸出向け財別出荷指数前月比比較(2021年3月)



国内向け出荷前月比 業種別の影響度合い

・ 2021年3月の国内向け出荷を主要業種別にみると、電気・情報通信機械工業などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

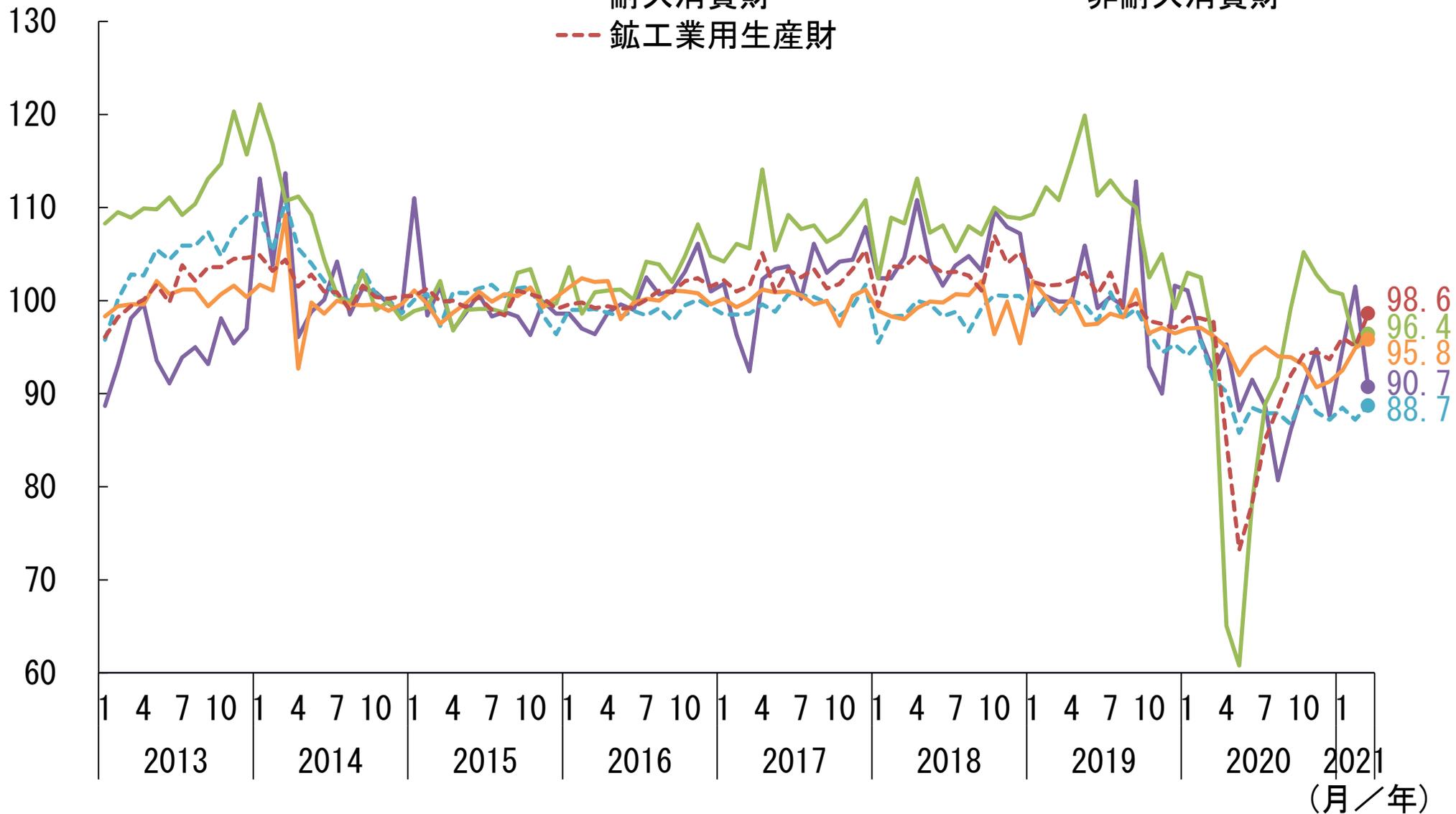


(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

国内向け財別出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)

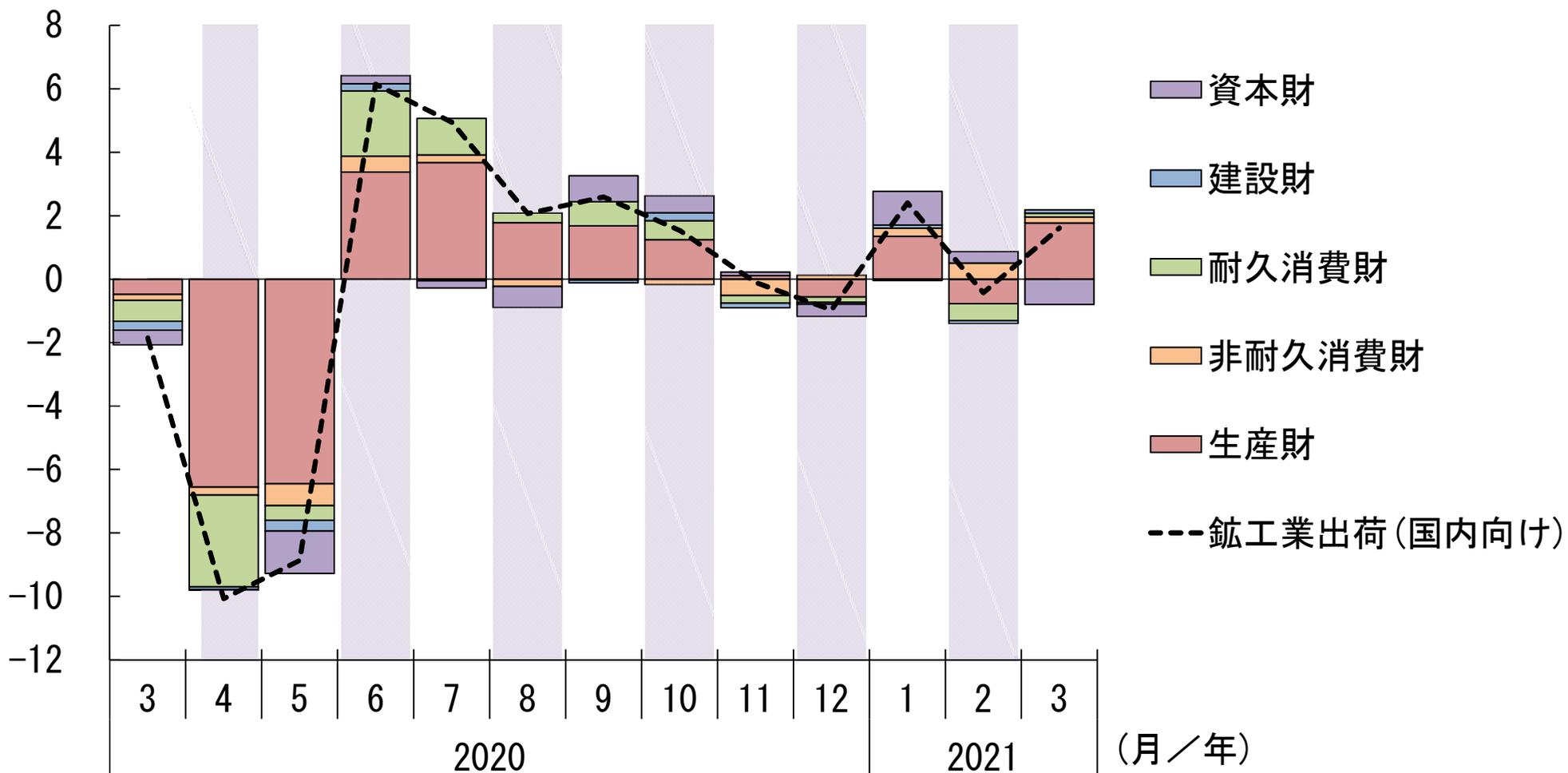
- 資本財(除. 輸送機械)
- - - 建設財
- 耐久消費財
- 非耐久消費財
- - - 鉱工業用生産財



国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

・ 2021年3月の国内向け出荷を財別にみると、資本財が低下したものの、生産財などが上昇。

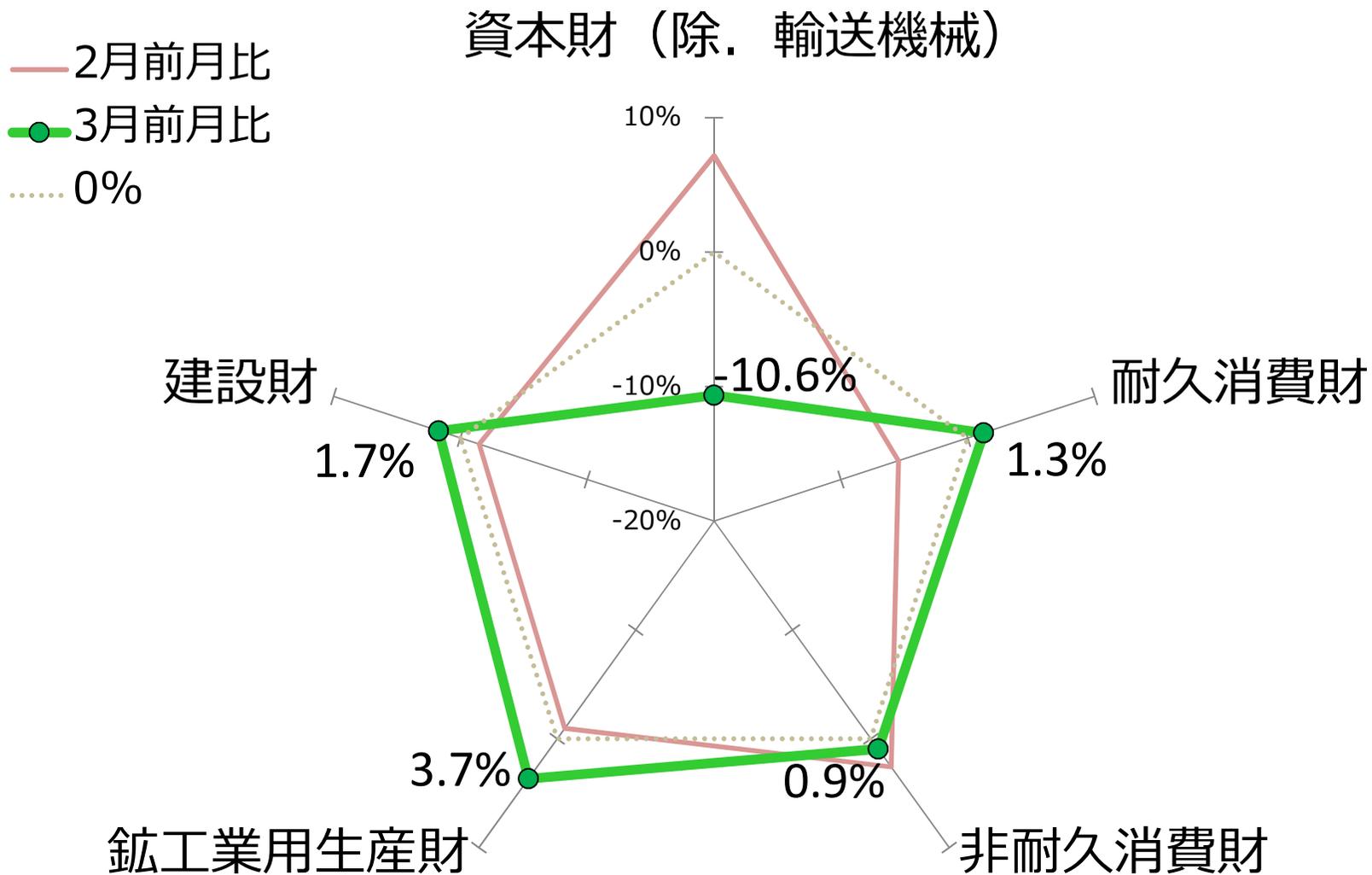
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



2021年3月の国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	1.6	—
鉱工業用生産財	3.7	1.62
非耐久消費財	0.9	0.19
その他用生産財	1.6	0.12
耐久消費財	1.3	0.12
建設財	1.7	0.11
資本財(除. 輸送機械)	-10.6	-1.10

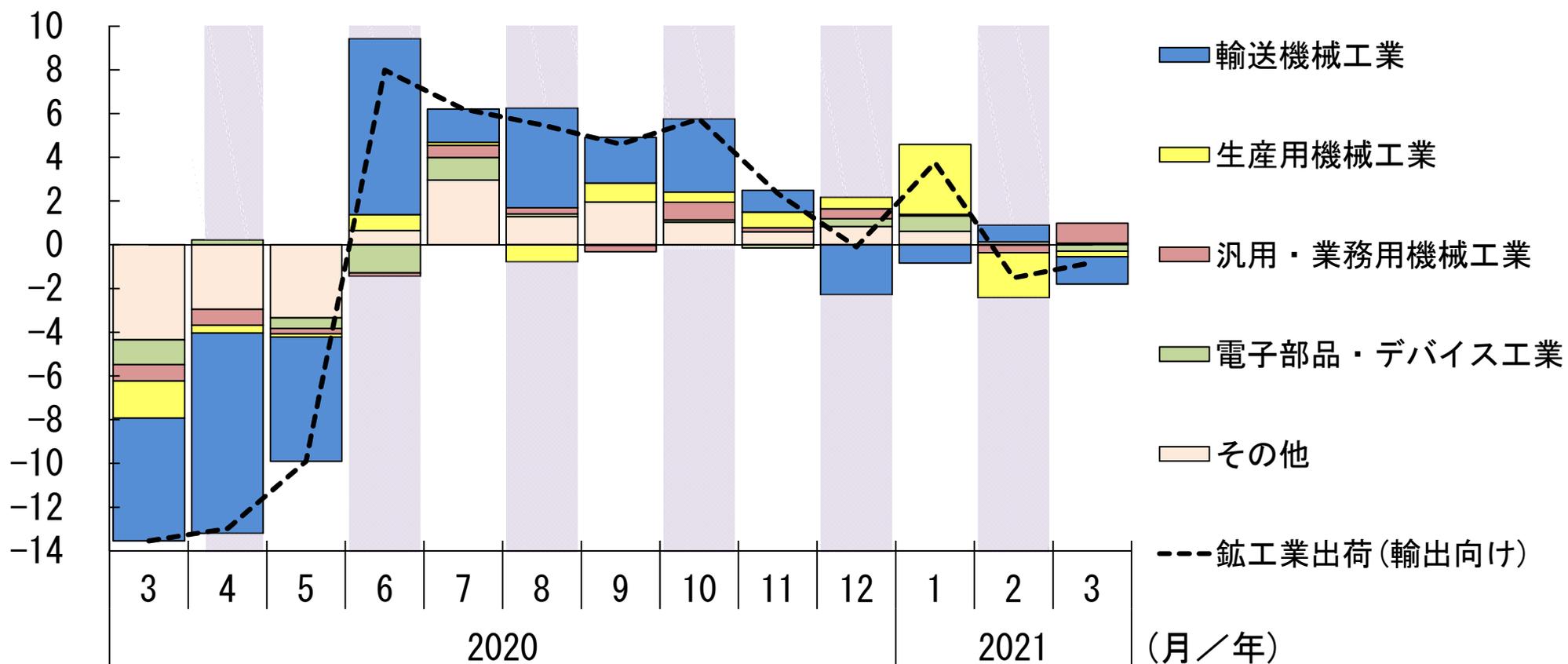
国内向け財別出荷指数前月比の比較(2021年2月、3月)



輸出向け出荷前月比 業種別の影響度合い

・ 2021年3月の輸出向け出荷を主要業種別にみると、汎用・業務用機械工業が上昇したものの、輸送機械工業などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

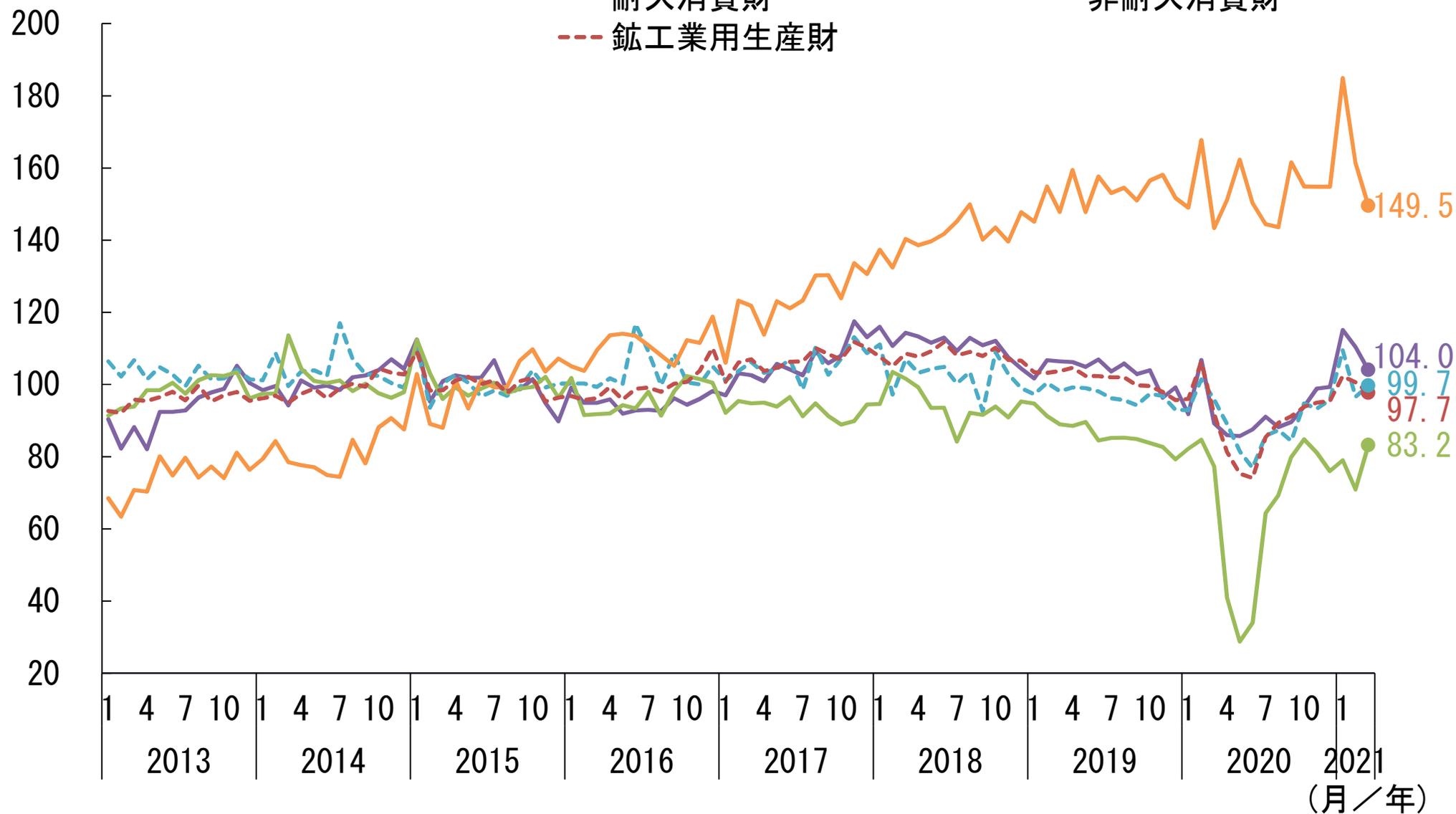


(注) 主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。

輸出向け財別出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)

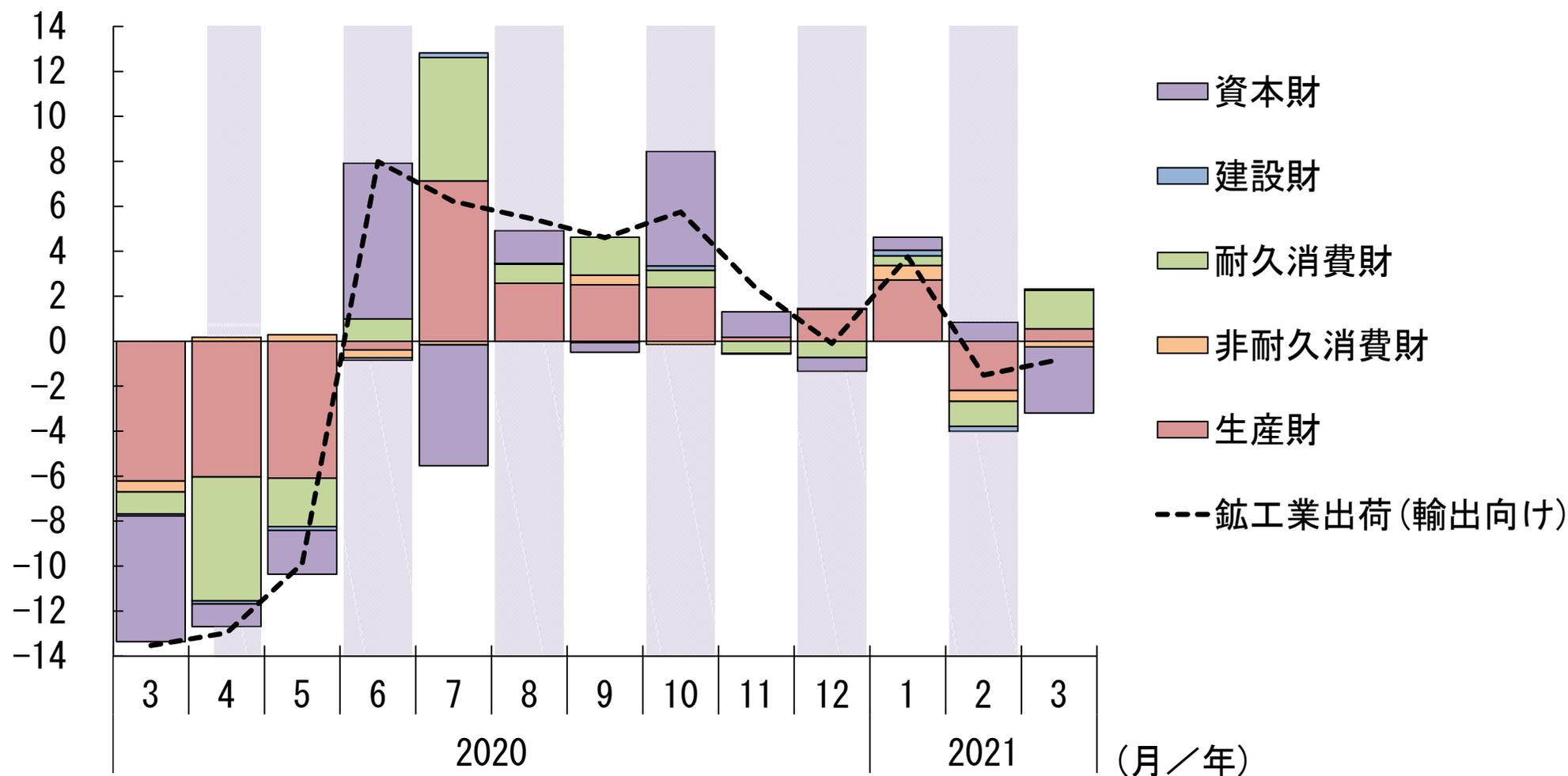
- 資本財(除. 輸送機械)
- 耐久消費財
- - - 鉱工業用生産財
- - - 建設財
- 非耐久消費財



輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

・ 2021年3月の輸出向け出荷を財別にみると、耐久消費財などが上昇したものの、資本財などが低下。

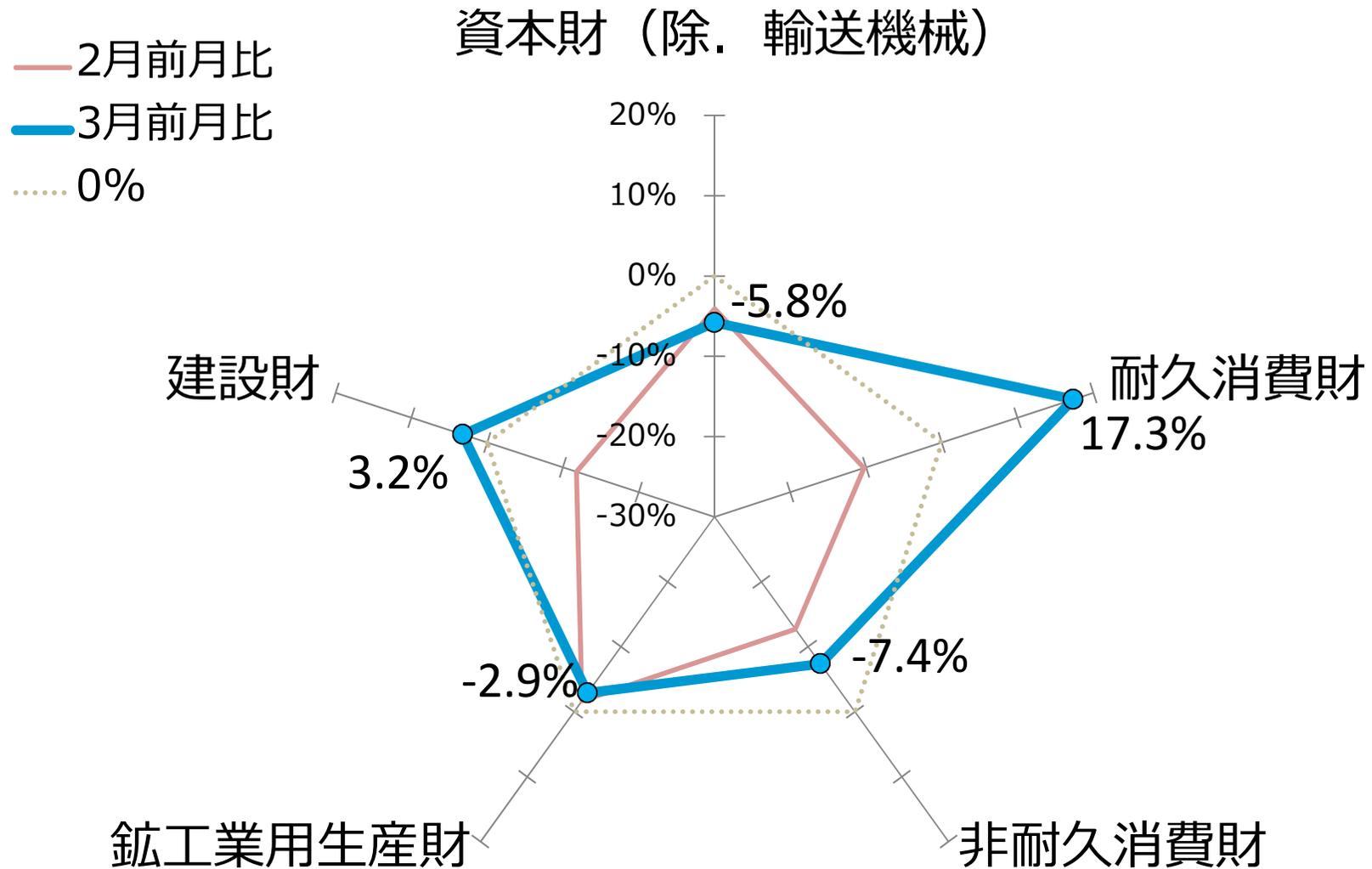
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



2021年3月の輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	-0.8	—
鉱工業用生産財	-2.9	-1.55
資本財(除. 輸送機械)	-5.8	-1.26
非耐久消費財	-7.4	-0.25
建設財	3.2	0.05
その他用生産財	17.1	0.28
耐久消費財	17.3	1.71

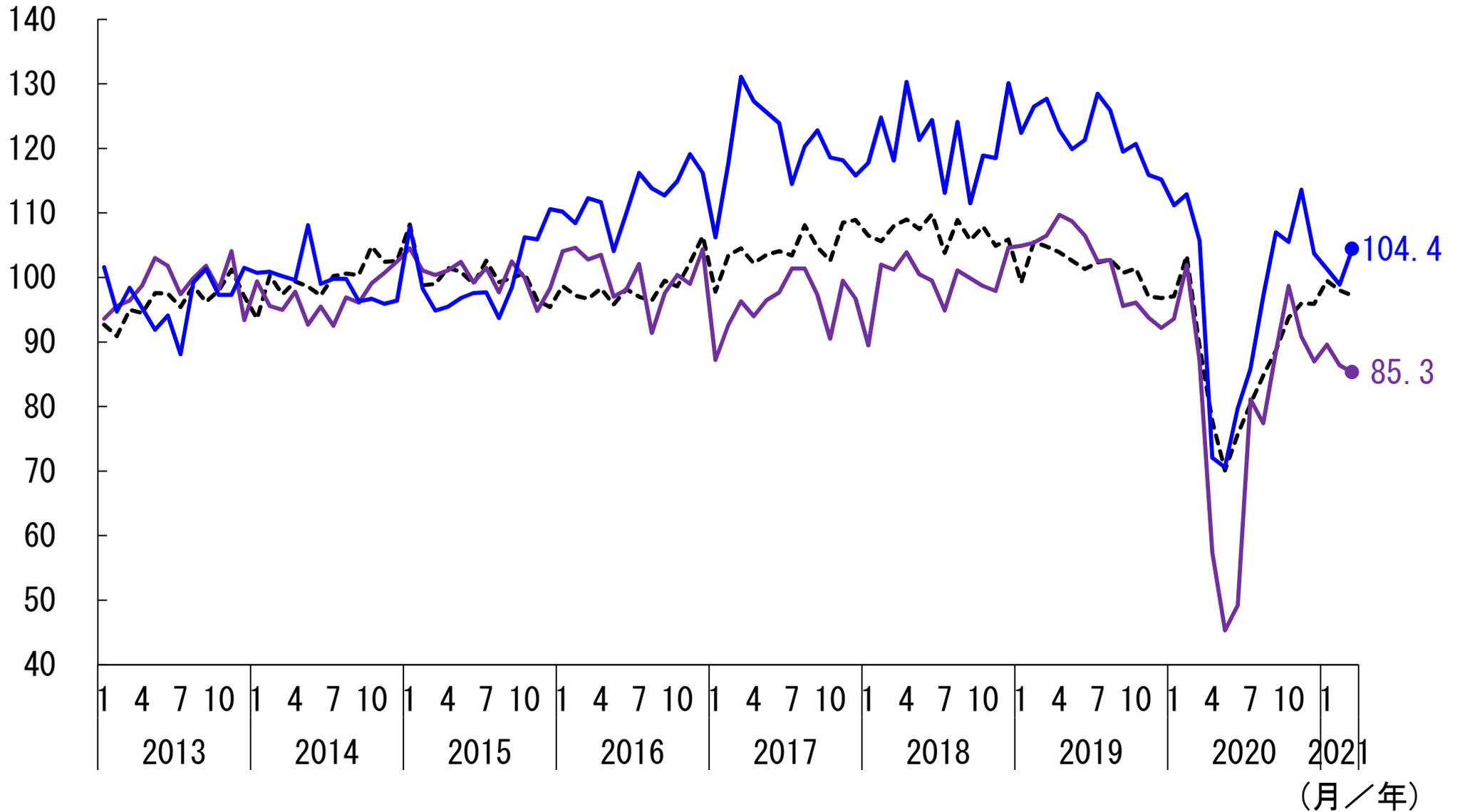
輸出向け財別出荷指数前月比の比較(2021年2月、3月)



欧米向け出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)

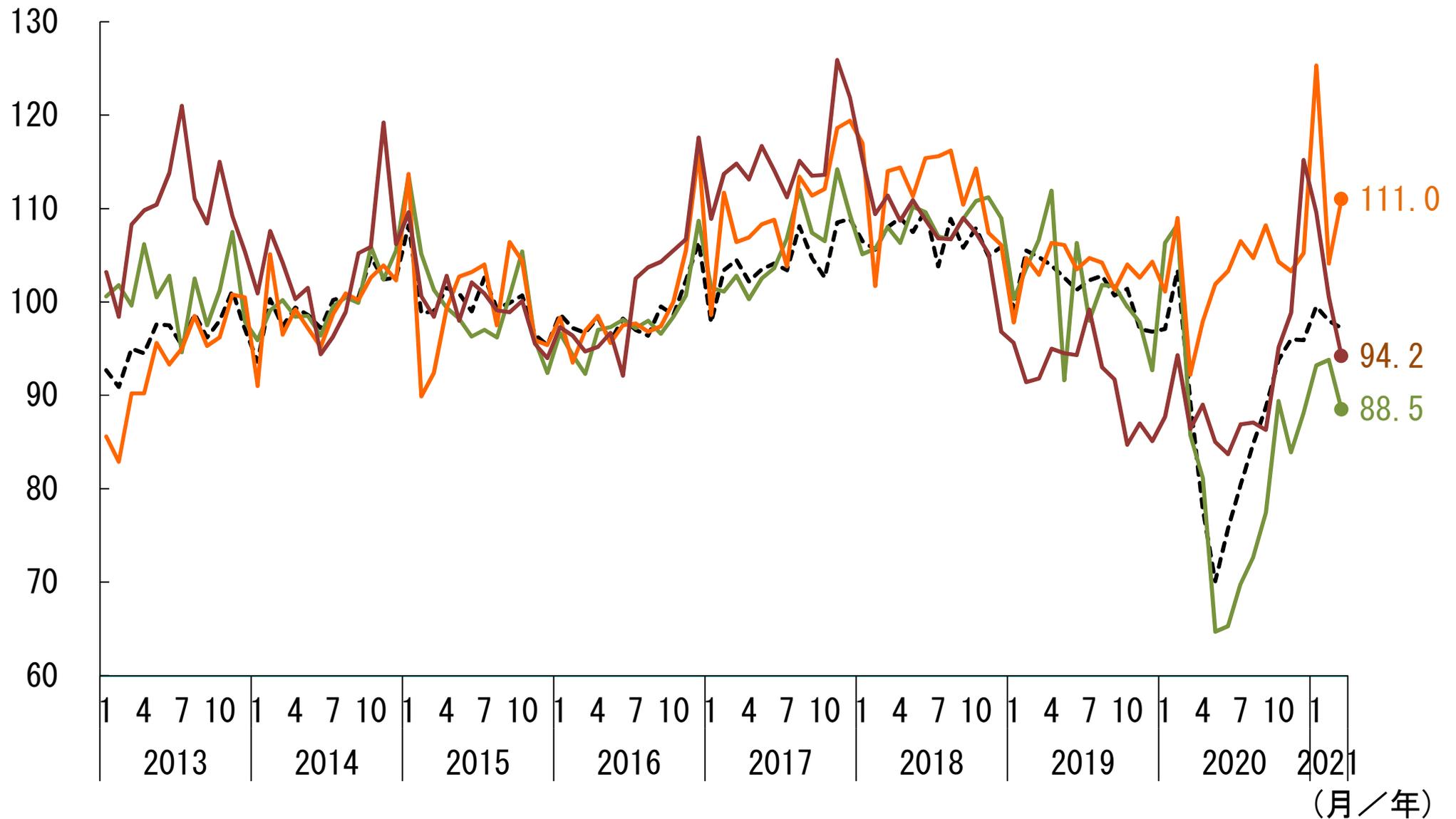
--- 輸出向け出荷 — 米国向け — 欧州向け



(注) 貿易統計に基づく試算値

アジア向け出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済) --- 輸出向け出荷 — ASEAN向け — 中国向け — 韓国向け

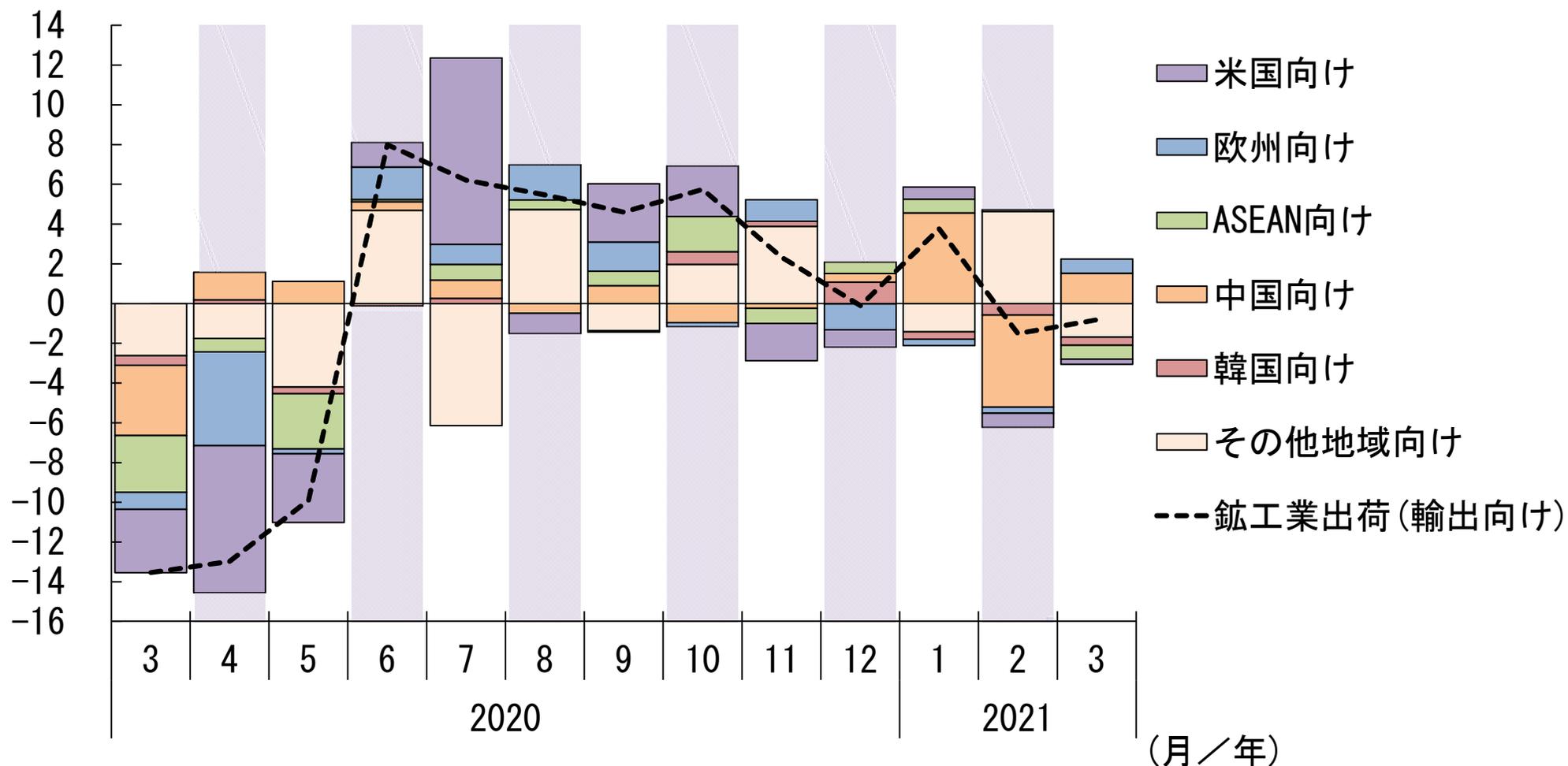


(注) 貿易統計に基づく試算値

輸出向け出荷前月比 地域別の影響度合い

・ 2021年3月の輸出向け出荷を地域別にみると、中国向けなどが上昇したものの、その他地域向けなどが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



(注) 貿易統計に基づく試算値

2021年3月の鉱工業総供給表の状況

総供給・国産品供給・輸入品供給

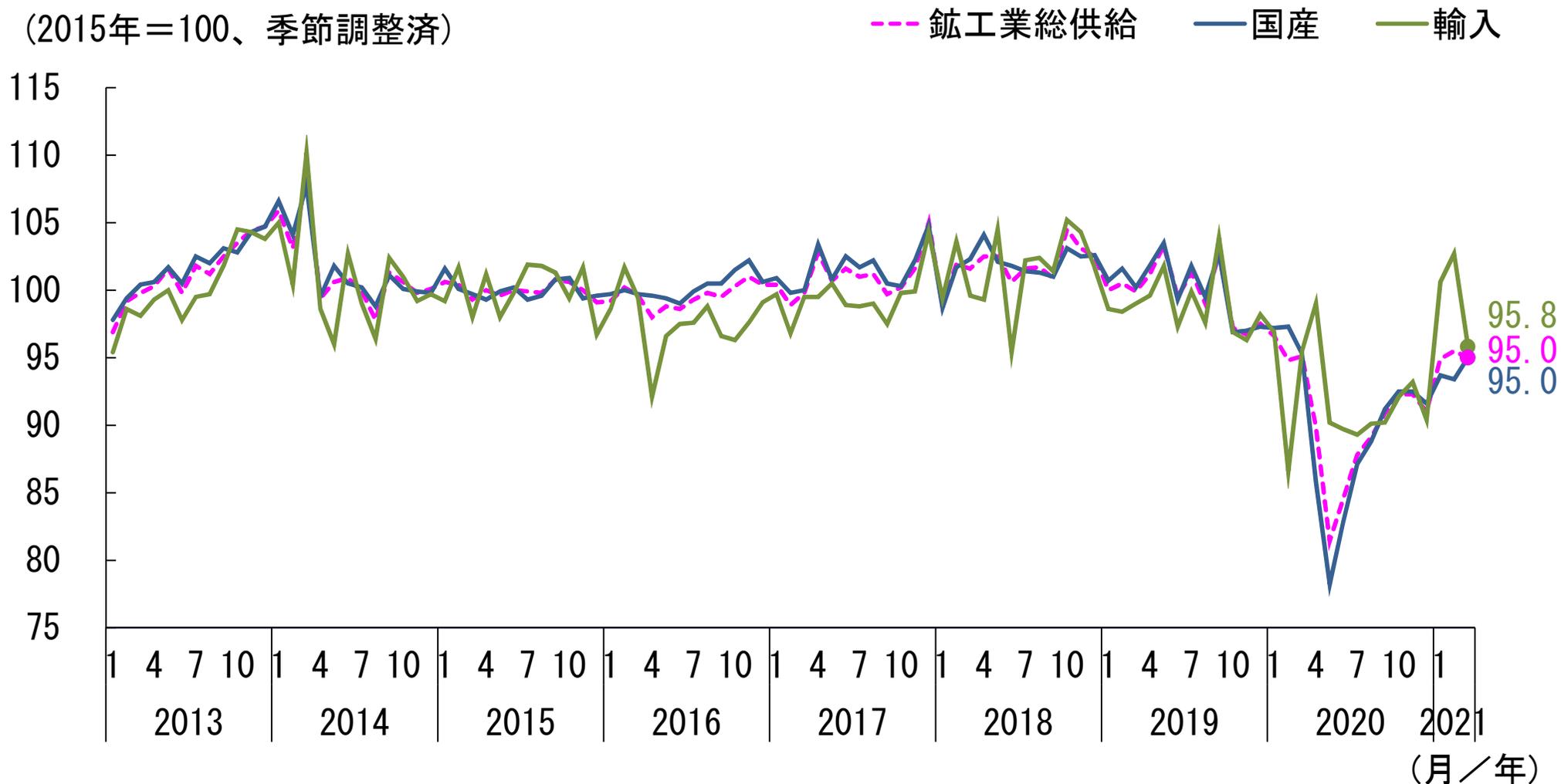
月次	総供給	国産	輸入
季調済指数 前月比	95.0 -0.5%	95.0 1.7%	95.8 -6.7%
指数水準	2021.1 94.9以来 ①2020.5 81.4 ②2020.6 84.6 ③2020.7 87.8	2020.3 95.3以来 I 2014.3 107.8 II 2014.1 106.6 III 2017.12 104.8	2020.12 90.4以来 ①2020.2 86.6 ②2020.7 89.3 ③2020.6 89.7
前月比の動き	3か月ぶり- (2020.12以来)	2か月ぶり+ (2021.1以来)	3か月ぶり- (2020.12以来)
前月比幅	2020.12 -1.4%以来 ①2020.5 -9.5% ②2014.4 -8.2% ③2018.1 -5.9%	2021.1 2.3%以来 I 2020.6 6.0% II 2020.7 5.1% III 2014.3 3.6%	2020.5 -8.9%以来 ①2020.2 -10.6% ②2014.4 -10.5% ③2020.5 -8.9%

1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業総供給指数の動向

・2021年3月の鋳工業総供給指数は95.0(前月比-0.5%)と3か月ぶりの低下。
・内訳をみると、国産は95.0(前月比1.7%)と2か月ぶりの上昇、輸入は95.8(前月比-6.7%)と3か月ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)



2021年1-3月期の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

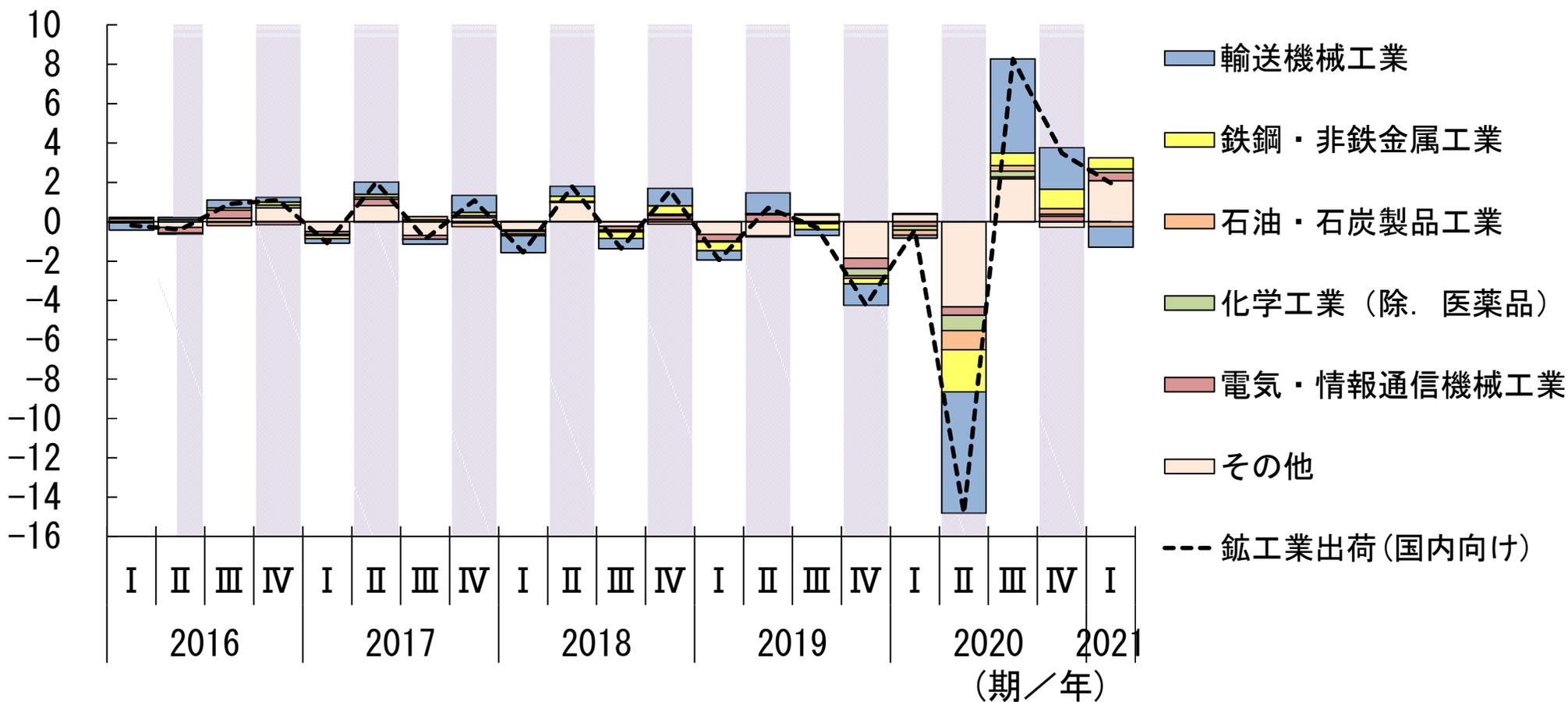
四半期	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数	95.1	98.2	93.9
前期比	2.3%	3.2%	2.0%
指数水準	2020 I 96.8以来 I 2014 I 104.5 II 2018 II 103.6 III 2018 IV 103.4	2019 IV 98.4以来 I 2018 II 108.8 II 2017 IV, 2018 I 106.7 III 2018 III, IV 106.2	2020 I 96.5以来 I 2014 I 106.3 II 2013 IV 104.0 III 2018 IV 102.8
前期比の動き	3期連続＋ (2020 III～当期)	3期連続＋ (2020 III～当期)	3期連続＋ (2020 III～当期)
前期比幅	2020 IV 5.9%以来 I 2020 III 9.2% II 2020 IV 5.9% III 2021 I 2.3%	2020 IV 12.5%以来 I 2020 III 13.6% II 2020 IV 12.5% III 2016 IV 4.9%	2020 IV 3.5%以来 I 2020 III 8.3% II 2020 IV 3.5% III 2014 I 2.2%

1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位までの数値

国内向け出荷前期比 業種別の影響度合い

・ 2021年1-3月期の国内向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが低下したものの、鉄鋼・非鉄金属工業などが上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

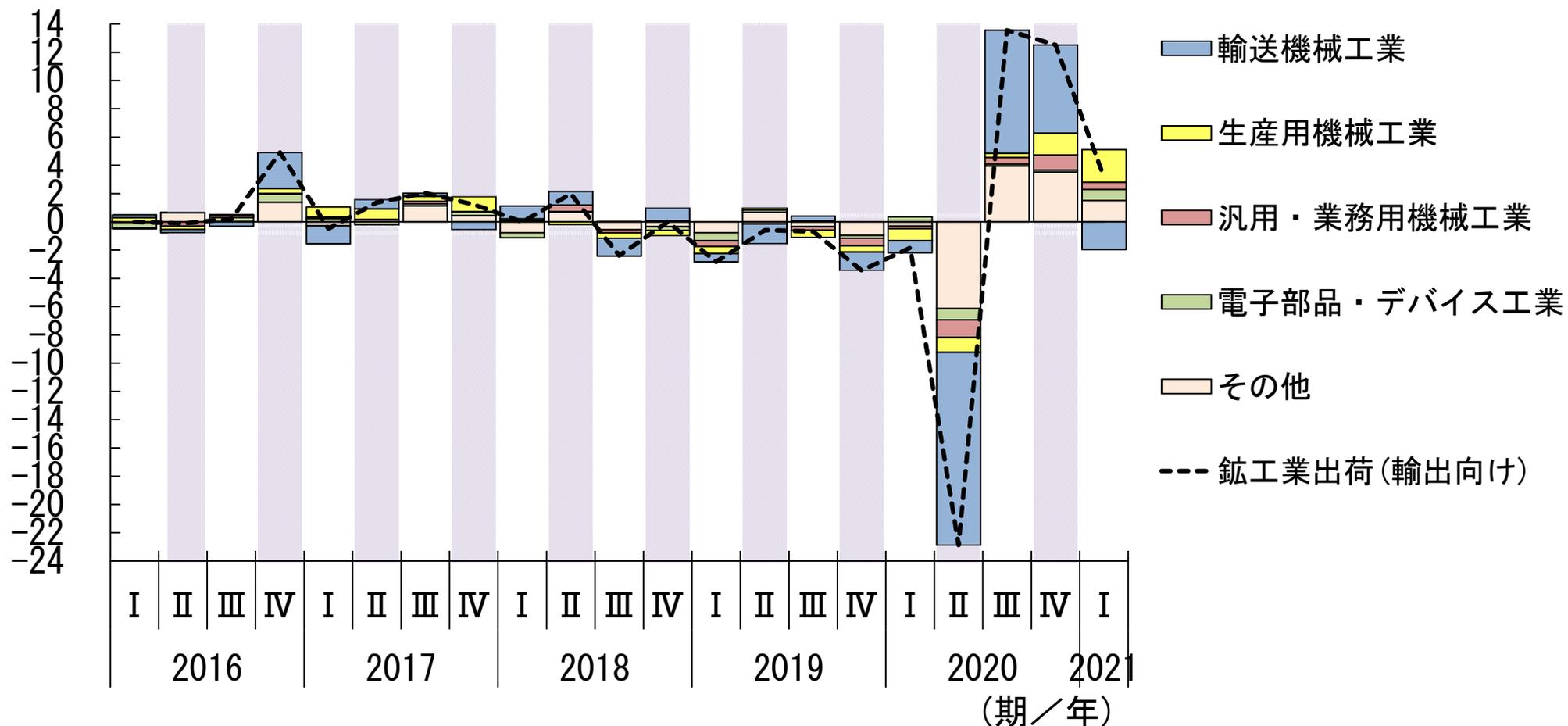


(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

輸出向け出荷前期比 業種別の影響度合い

・ 2021年1-3月期の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業が低下したものの、生産用機械工業などが上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。

2020年度の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

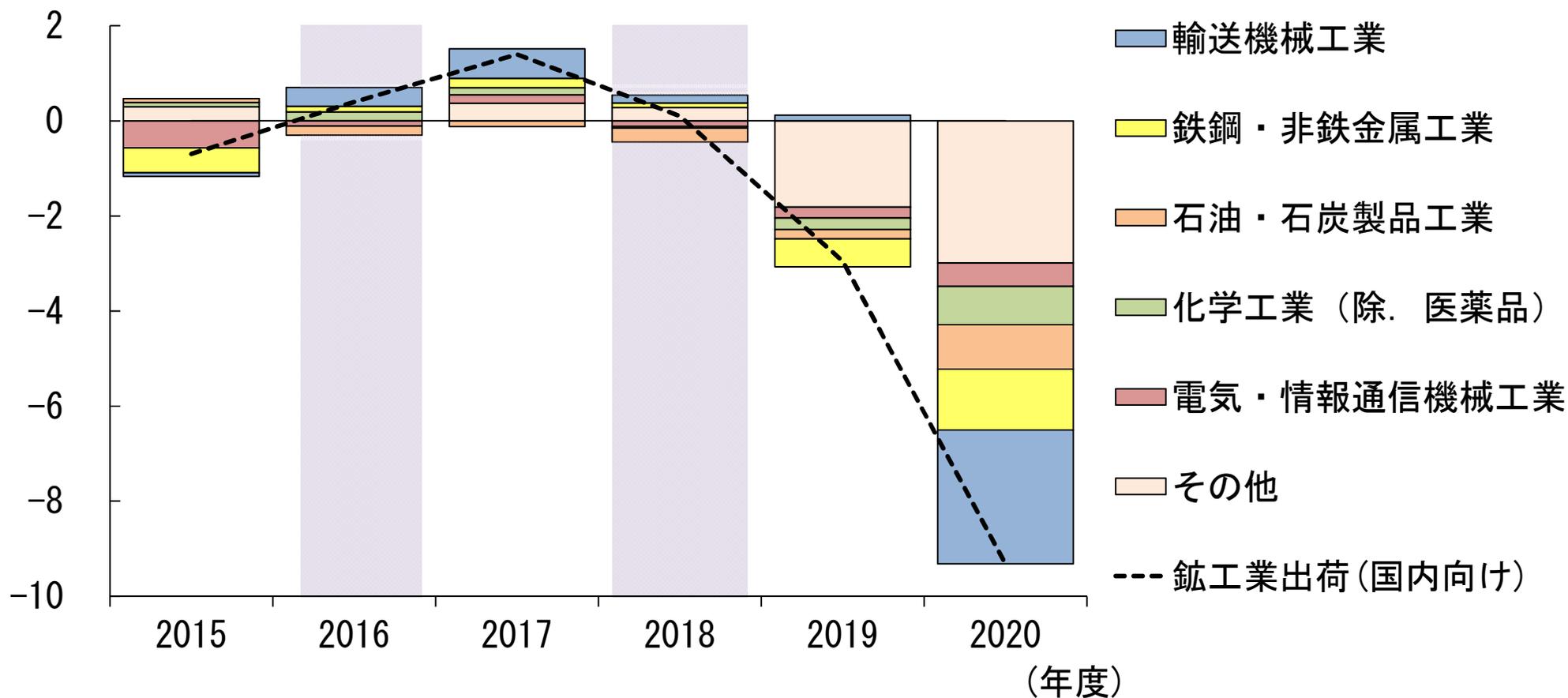
年度	出 荷	輸 出	国 内
原指数	89.3	88.4	89.5
前年度比	-9.7%	-11.0%	-9.3%
指数水準	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準
	①2020 89.3 ②2019 98.9 ③2015 99.6	①2020 88.4 ②2013 97.4 ③2015 98.8	①2020 89.5 ②2019 98.7 ③2015 99.8
前年度比の動き	2年度連続— (2019～当年度)	2年度連続— (2019～当年度)	2年度連続— (2019～当年度)
前年度比幅	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準
	①2020 -9.7% ②2019 -3.6% ③2014 -1.7%	①2020 -11.0% ②2019 -6.4% ③2015 -2.3%	①2020 -9.3% ②2014 -3.0% ③2019 -2.9%

1) ①～③は2015年基準における最小値から下位3位までの数値

国内向け出荷前年度比 業種別の影響度合い

・ 2020年度の国内向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが低下。

(前年度比、%、%ポイント)

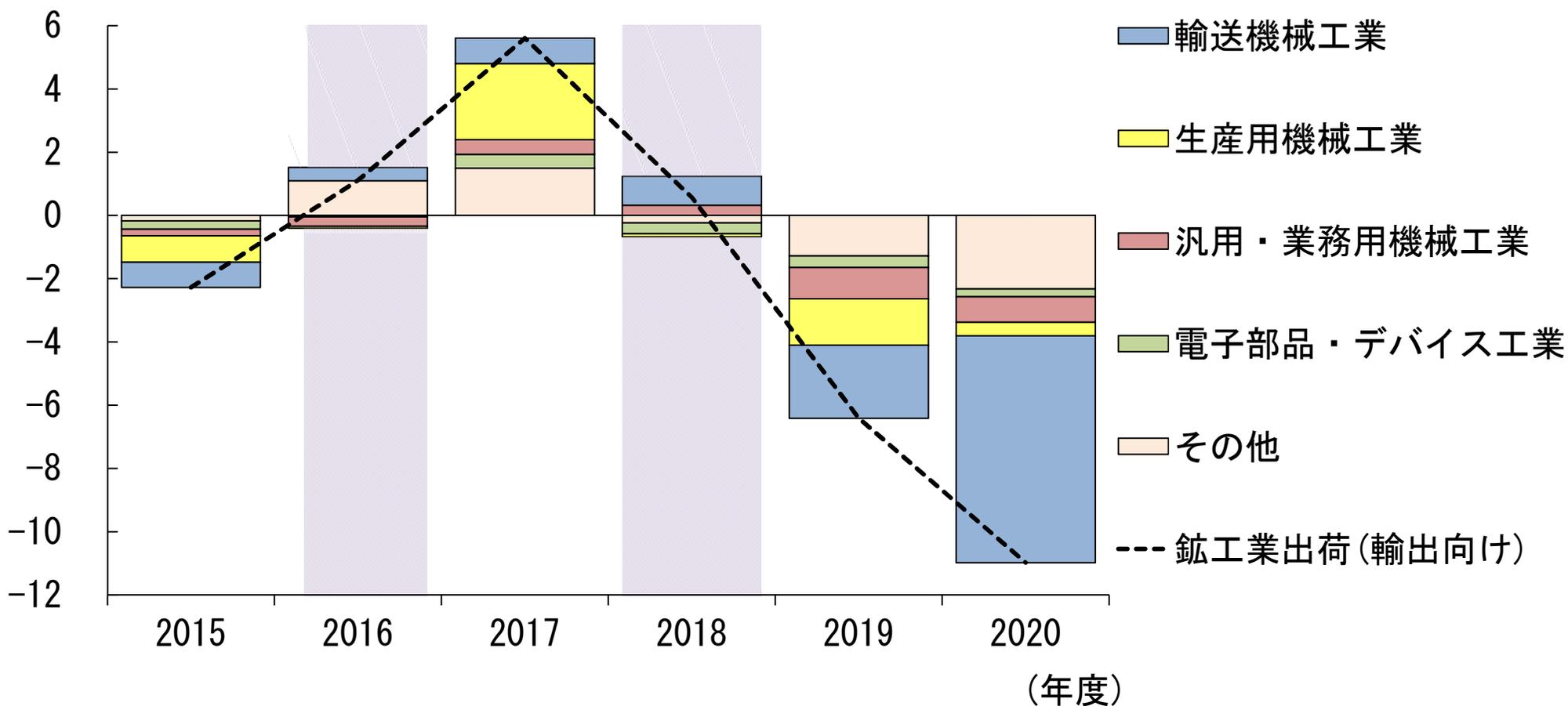


(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

輸出向け出荷前年度比 業種別の影響度合い

・ 2020年度の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが低下。

(前年度比、%、%ポイント)



(注) 主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。